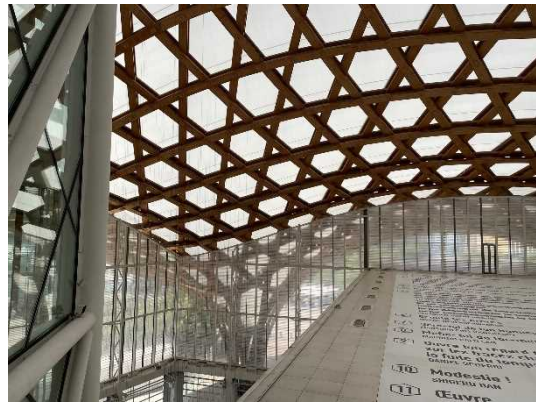


パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

120 フランスで活躍する日本人建築家 4 (2022年7月14日)

これまでに何度もフランスで活躍する日本人建築家をご紹介する記事をお届けしてきました(*)。フランスには、他にも日本人建築家による素敵な建物があ
ります。今回は、パリ以外にある作品を選んでご紹介します。

まずは、2010年に完成したポンピドゥセンター・メッセです。この建築には、
坂茂(1957-)が参加しました。新しい美術館は、1-2世紀のガロ・ローマ時代に
円形劇場が建設された地区に建てられました。波打った独特のフォルムの屋
根、四角く突き出したギャラリーが印象的です。屋根の内側には木材を使用し
て、自然との調和も図っています。



二つ目は、丹下健三(1913-2005)が設計したニース東洋美術館です。丹下も、
ル・コルビュジエに影響を受けた建築家の一人です。コンクリートとガラスが使
われた建物には南仏の明るい光が差し込み、円筒形のギャラリーを回りながら
日本を含む東洋の美術品を鑑賞することができます。1998年に完成した建物で
すが、21世紀の現代にも合った作品です。



最後に、モンペリエに 2019 年に完成した藤本荘介 (1971-) 設計の L'Arbre blanc (白い木) です。この建物には約百戸の住居が入っており、建物から放射状に突き出た部分は、バルコニーになっています。写真で観たときは、少々奇抜なデザインの建物との印象を持ちましたが、近くで見ると太陽を満喫しながらベランダでくつろぐ人の姿がありました。戸別に設けられたベランダはプライバシーが守られ、住民のことを考えたデザインであることがわかりました。突き出たベランダは、初めて見ました。藤本氏のインタビュー記事によると、台風など災害の多い日本ではこのような設計は許可されないそうです。フランスだから実現できた日本人建築家によるデザインです。



次は、フランスにどのような建物が誕生するのか、日本人建築家のこれからの活躍が楽しみです。

*

8 フランスで活躍する日本人建築家

<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100158798.pdf>

32 フランスで活躍する日本人建築家 2

<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100147614.pdf>

91 フランスで活躍する日本人建築家 3

<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100270626.pdf>

110 アルペール＝カーン庭園に見る日本建築の今と昔

<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100340341.pdf>